

「四国中央市の地域医療を守ろう」——。県は県立三島病院の「県立新居浜病院への統合・廃止」「民間や四国中央市への譲渡」「指定管理者制度の導入」などを検討し、早ければ6月中にも結論を出そうとしています。こうした切迫した情勢のなか、県立三島病院を守る市民集会が14日、同市の市民会館三島会館で開かれ690人が参加。同病院の存続、充実を県にアピールしました。井原功市長も参加し、あいさつしました。



「県立三島病院を守ろう」「住民の命を守れ」などとショブフレイコールしながらパレードする集会参加者(14日、四国中央市)



田中自治労連副委員長の講演に熱心に耳を傾け、県立三島病院を守ろうとの決意を固め合った



三島病院を守るために
あらゆる手法を模索

井原市長があいさつ
井原巧四国中央市長の
あいさつ(要旨)

つい。「守る会は6月3日に3回目の署名を県に提出しました。小原会長が開会あいさつ出し、署名の総数は2万

67%しかありません。三島病院が診療所に格下げされれば、入院するためには香川県や新居浜市に行かなければなりません。地元で手術や入院ができるない医療過疎地になって

3000になりました。

市議会は全会一致で三島

病院を守る決議を採択。

と訴えました。

自治体病院を守るために

全国で運動している自

治労連副委員長の田中章

つ。「守る会は6月3日に3回目の署名を県に提出しました。小原会長が開会あいさつ出し、署名の総数は2万

しまいます。病院を守る

ことは命を守ることです」

と訴えました。

自治体病院を守るために

全国で運動している自

治労連副委員長の田中章

てはだめだ」との病院關

係者の怒り、「命を守れ」の住民や患者の声と運動が政治を動かしたと指摘。▽政府が医師数抑制の閣議決定を撤廃▽総

務省が自治体病院の危機

の背景に、医師不足、診

療報酬引き下げ、三位一

「財政健全化法」など公

立病院を谷底に突き落と

そつとすねあらたな動き

が政府側に出てきており

ら地方財政を充実させる措置を取ることになった

「公立病院改革プラン」

ついで政府の思惑通り

には進んでいないと述べ

ました。

「県は今年度中に公立

病院改革プランを策定予

定だが、三島病院だけは

利用する母親の石川広美

さんらが、それぞれの立

場から県立三島病院の存

続・充実を訴えました。

県立三島病院の存続・

充実を求める集会アピ

ールを採択。日本共産党の立

候補者である衆院比例候補

川岡まさる衆院比例候補

があいさつしました。

「住民の命を守れ」な

どのプラカードを掲げ、

市民パレードをしました。

県立三島病院守る集会に690人 存続、充実を県にアピール

四国中央市

3000になりました。市議会は全会一致で三島病院を守る決議を採択。と訴えました。自治体病院を守るために全国で運動している自

治労連副委員長の田中章が「守る会は6月3日に3回目の署名を県に提出しました。小原会長が開会あいさつ出し、署名の総数は2万

67%しかありません。三島病院が診療所に格下げされれば、入院するためには香川県や新居浜市に行かなければなりません。地元で手術や入院ができるない医療過疎地になって

3000になりました。市議会は全会一致で三島病院を守る決議を採択。と訴えました。自治体病院を守るために全国で運動している自

治労連副委員長の田中章が「守る会は6月3日に3回目の署名を県に提出しました。小原会長が開会あいさつ出し、署名の総数は2万